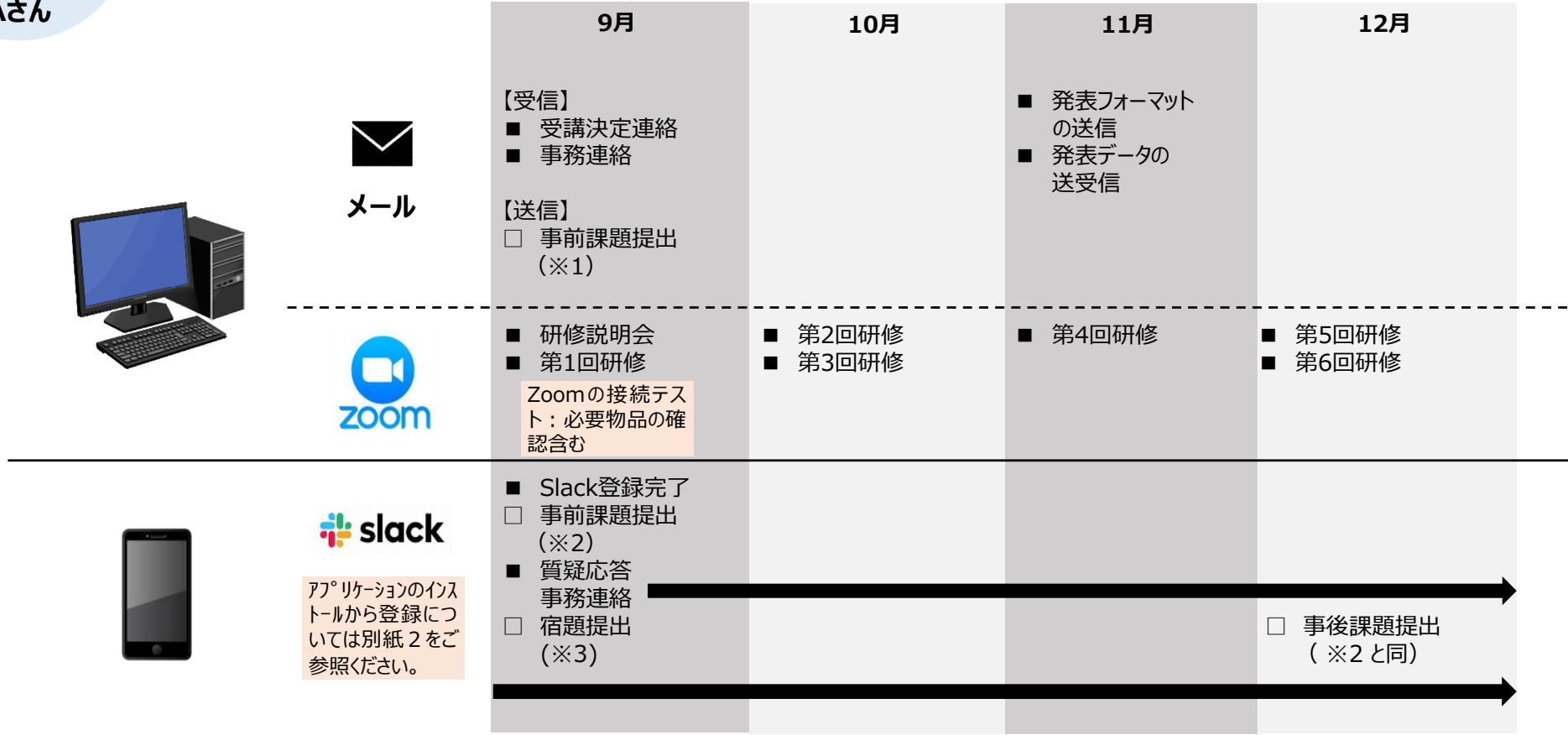




下の図は、専門研修を受講する Aさん の使用端末とアプリケーションのイメージ図です。

Aさんは、頻繁な情報の共有を想定して「Slackはスマートフォン」に（いつでも接続、いつでも確認）、そして音声や画質等の接続環境を確保するため「ZoomはPC」と、2つの端末を利用することにしました。研修では、これまでのデータを手元のSlackで確認しながら、Zoomを使って具体的な支援計画の立案、結果の評価などを行います。

※ 本研修では、ZoomとSlackは別々の端末での使用を推奨しています。



- 【事前課題と宿題（ホームワーク）】
- ※1 ①対象事例アセスメントシート
  - ※2 ②BPI-S（問題行動評価尺度短縮版）、③強度行動障害判定指針、④ABC-J（異常行動チェックリスト日本語版）、⑤強度行動障害判定支援尺度、⑥GHQ（精神健康調査）、⑦KB PAC（応用行動分析の基礎知識テスト）
  - ※3 ⑧ストラテジーシート、⑨スキャッタープロット

+

3月にフォローアップ。※2の一部内容について再提出の依頼を予定。